

(運用基準 様式3)

2022年7月6日

一般社団法人2027年国際園芸博覧会協会 運営課

「国際園芸博覧会基本計画策定に向けたICT検討業務委託」 契約結果

国際園芸博覧会基本計画策定に向けたICT検討業務委託について、公募型プロポーザル方式で、受託候補者を特定し、次のとおり契約しました。

- 1 件名 国際園芸博覧会基本計画策定に向けたICT検討業務委託
- 2 委託内容 基本計画の深度化 等
- 3 契約の相手方 株式会社三菱総合研究所
- 4 契約金額 40,920,000円(税込)
- 5 契約日 2022年6月6日
- 6 評価結果

| 提案者 | 評価点数 | 順位 |
|-------------|------|----|
| 株式会社三菱総合研究所 | 802 | 1 |

7 評価基準・評価委員会開催経過等

| | |
|-----------|----------------------------------------------------------|
| 委員会開催日時 | 2022年5月11日(水) 13時30分～14時40分 |
| 委員会開催場所 | 一般社団法人2027年国際園芸博覧会協会 大会議室1・2 |
| 評価委員の出席状況 | 評価委員6名中6名出席 |
| 事務局 | 一般社団法人2027年国際園芸博覧会協会 運営課 |
| 議事内容 | ・プロポーザル評価委員会までの経緯について ・受託候補者の特定について ・今後のスケジュールについて |
| 評価基準 | 別紙のとおり |

8 問い合わせ先

一般社団法人2027年国際園芸博覧会協会

担当:運営課 田才、杉江

TEL:045-307-2049

国際園芸博覧会基本計画策定に向けた ICT 検討業務委託のプロポーザルに係る
提案書評価基準

表 1 の評価項目及び配点ウェイトのもと、評価を行います。

各評価項目の評価の着目点は表 2 のとおりとします。

表 1 基本的事項

| 評価項目 (配点) | 評価の着目点 | | 配点 | 評価 | 評価点 |
|------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|----|----|-----|
| 業務実績 (40 点) | 管理技術者 | 同種又は類似の業務の実績の内容 | 20 | | |
| | 担当技術者 | 同種又は類似の業務の実績の内容 | 20 | | |
| 提案内容 (70 点) | 国際園芸博覧会が目指す目標像を十分に理解した上で、本業務の実施方針、体制や業務全体の進め方（専門家・企業等へのヒアリングの効果的な相手方の選定や活用の考え方等を含む）について、明確で適切な提案がされているか | | 20 | | |
| | 国際園芸博覧会の安定的な運営を支える情報基盤の在り方を明確にし、その検討の視点と方向性が提案されているか | | 40 | | |
| | 住民や来場者の裨益に繋がるレガシー化を見据えた情報基盤の在り方を明確にし、その検討の視点と方向性が提案されているか | | 10 | | |
| ヒアリング (40 点) | 理解力や専門技術力があるか | | 20 | | |
| | 取り組み意欲が感じられるか | | 20 | | |
| ワーク・ライフ・バランスに関する取組等 (6 点) | 次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員 101 人未満の場合のみ加算） | | 1 | | |
| | 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員 301 人未満の場合のみ加算） | | 1 | | |
| | 次世代育成支援対策推進法に基づく認定（くるみんマーク）の取得、又は女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定（えるぼしマーク）の取得 | | 1 | | |
| | 青少年の雇用の促進等に関する法律に基づくユースエール認定の取得 | | 1 | | |
| | 障害者雇用促進法に基づく法定雇用率 2.3%を達成している（従業員 43.5 人以上）、又は障害者を 1 人以上雇用している（従業員 43.5 人未満） | | 1 | | |
| | 健康経営銘柄、健康経営優良法人（大規模法人・中小規模法人）の取得 | | 1 | | |
| 評価点の合計（156 点） | | | | | |

評価方法

- (1) 業務実績は、A、C、Eの3段階評価を行う。
- (2) 提案内容及びヒアリングは、A、B、C、D、Eの5段階評価を行う。
- (3) 評価点については、次のように配点を行う。
配点に $A=5/5$ 、 $B=4/5$ 、 $C=3/5$ 、 $D=2/5$ 、 $E=1/5$ を乗じて算出する。
ア 業務実績の各項目
配点 20点 $A=20$ 点、 $C=12$ 点、 $E=4$ 点
イ 提案内容及びヒアリング
配点 40点 $A=40$ 点、 $B=32$ 点、 $C=24$ 点、 $D=16$ 点、 $E=8$ 点
配点 20点 $A=20$ 点、 $B=16$ 点、 $C=12$ 点、 $D=8$ 点、 $E=4$ 点
配点 10点 $A=10$ 点、 $B=8$ 点、 $C=6$ 点、 $D=4$ 点、 $E=2$ 点
- (4) ワーク・ライフ・バランスに関する取組等は、各項目を1つ満たすごとに1点を加算する。
- (5) 提案内容及びヒアリングの評価項目において、D、E評価のあるものは原則として選定しない。
- (6) 評価点について最上位の者が2人以上同点となった場合には、評価委員会にて採択を行い、最上位を決定する。
- (7) 業務実績及びワーク・ライフ・バランスに関する取組等は、1者ごとに事務局が評価を行い、評価委員会で承認を行う。
- (8) 提案内容及びヒアリングは、1者ごとに各評価委員が評価を行う。
- (9) 業務実績、提案内容、ヒアリング及びワーク・ライフ・バランスに関する取組等の評価点の合計を評価委員全員分集計し、その合計点を当該提案者の評価結果とする。
- (10) 評価点は、評価委員1名につき満点で186点とし、評価委員全員の合計で $156 \times 6 = 936$ 点で満点とする。
- (11) 共同企業体を組成する場合、業務実績は、1者以上の構成員が条件に当てはまることで、該当していることとする。
- (12) 共同企業体を組成する場合、ワーク・ライフ・バランスに関する取組等は、代表者たる構成員が条件に当てはまることで、該当していることとする。
- (13) 評価委員が欠席した際には、その委員の評価点は無効とし、委員会に出席した委員のみで評価を行う。
- (14) ヒアリングを実施しなかった場合には、ヒアリングに関する評価はC ($40 \times 3/5 = 24$ 点)とする。

表2 評価の視点

| 評価項目 | 評価の着目点 | | A | B | C | D | E |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 業務実績 | 管理技術者 | 同種又は類似の業務の実績は十分か | 大阪・関西万博や愛知万博等の国際博覧会又は東京オリ・パラ大会等の ICT 計画立案・企画立案に関する業務実績を有する | / | 地方博覧会等の国内大規模イベントやテーマパーク等の大規模集客施設の ICT 計画立案・企画立案に関する業務実績を有する | / | A 又は C に該当しない |
| | 担当技術者 | 同種又は類似の業務の実績は十分か | 大阪・関西万博や愛知万博等の国際博覧会又は東京オリ・パラ大会等の ICT 計画立案・企画立案に関する業務実績を有する | / | 地方博覧会等の国内大規模イベントやテーマパーク等の大規模集客施設の ICT 計画立案・企画立案に関する業務実績を有する | / | A 又は C に該当しない |
| 提案内容 | 国際園芸博覧会が目指す目標像を十分に理解した上で、本業務の実施方針、体制や業務全体の進め方（専門家・企業等へのヒアリングの効果的な相手方の選定や活用の考え方等を含む）について、明確で適切な提案がされているか | | 十分な理解に基づいた明確な提案である | 一定程度理解に基づいた明確な提案である | どちらともいえない | 理解がやや乏しい提案で、妥当性に欠ける | 理解が乏しく、妥当ではない |
| | 国際園芸博覧会の安定的な運営を支える情報基盤の在り方を明確にし、その検討の視点と方向性が提案されているか | | 明確な安定的な運営を支える情報基盤の在り方で、検討の視点と方向性は具体的である | 一定程度明確な安定的な運営を支える情報基盤の在り方で、検討の視点と方向性は具体的である | どちらともいえない | やや明確でない安定的な運営を支える情報基盤の在り方で、検討の視点と方向性の一部は具体性に欠ける | 明確でない安定的な運営を支える情報基盤の在り方で、検討の視点と方向性は具体性に欠ける |
| | 住民や来場者の裨益に繋がるレガシー化を見据えた情報基盤の在り方を明確にし、その検討の視点と方向性が提案されているか | | 明確なレガシー化を見据えた情報基盤の在り方で、検討の視点と方向性は具体的である | 一定程度明確なレガシー化を見据えた情報基盤の在り方で、検討の視点と方向性は具体的である | どちらともいえない | やや明確でないレガシー化を見据えた情報基盤の在り方で、検討の視点と方向性の一部は具体性に欠ける | 明確でないレガシー化を見据えた情報基盤の在り方で、検討の視点と方向性は具体性に欠ける |
| ヒアリング | 理解度・専門技術力があるか | | 特に優れている | 優れている | どちらともいえない | あまり妥当ではない | 妥当ではない |
| | 取り組み意欲が感じられるか | | 強い意欲が認められる | 意欲が認められる | どちらともいえない | あまり意欲が認められない | 意欲が認められない |